

戦評用紙

大会名	令和5年度 第74回山形県高等学校総合体育大会兼全国高等学校体育大会山形県予選会		
-----	--	--	--

日時	2023年6月4日 14:20 ~	区分	高体連
----	-------------------	----	-----

チームA				チームB
羽黒				山形中央
93	23	1Q	15	65
	24	2Q	17	
	21	3Q	14	
	25	4Q	19	
		延長		

【戦評】

決勝戦は、1月に行われた山形県新人大会決勝と同じ、羽黒と山形中央(以下、山中)の一戦となった。スターティングメンバーは、羽黒#10、#12、#16、#23、#81、山中#0、#11、#14、#35、#51

1Q

羽黒、山中ともにマンツーマンディフェンスでスタート。山中#0のスリーポイントという華やかな出だしで始まる。また山中#14がバスケットカウントを決めるなどするが、羽黒も#10のフリースローで点差を離させない。山中リードで迎えた羽黒#10のフリースローの後から羽黒はディフェンスシステムをゾーンディフェンスに変更。これに対し、山中は攻め手を欠き、24秒オーバータイムを取られてしまうなど、流れは羽黒に傾きかけ、23-15、羽黒リードで終了。

2Q

開始早々から羽黒#37のリバウンドショット、山中#14のドライブなどお互いに点数を積み重ねた。山中#14、#35の連続スリーポイントからの#51の速攻で1Pで傾きかけていた流れを完全に引き寄せた山中だったが、羽黒の#10のドライブの際の山中#11のファウルに対して抗議し、テクニカルファウルを宣せられる。その後、羽黒は#16のブロックから#23の速攻や、#16のドライブでフリースローを2本獲得し加点。しかし、山中も今まで攻略に苦難していたゾーンディフェンスであったが、ハイポストやドライブでギャップを攻め、点数を重ねる。1Pの点差を縮めることができず、羽黒#10、#16の連続スリーポイントが成功し、47-32、羽黒15点リードで前半を終える。

3Q

羽黒はディフェンスの運動量をあげ、山中に得点を許さない。羽黒#16、#37のゴール下シュートを確実に決め、さらには、#23、#12の速攻が成功する。しかし、山中も#0、#13が連続でスリーポイントを成功させ、#11の速攻も成功する。たまたま羽黒がタイムアウトをとり、羽黒#23がスリーを決める。68-46、羽黒22点リードで終了。

4Q

4Qに入り、点差を意識した山中はスリーポイント攻勢で試合を展開する。山中#51、7、13がスリーポイントを高確率で成功させる。しかし、羽黒も負けじと#23、#10のスリーポイントで山中を寄せ付けない。最終的には93-65で、終始優位にゲームを進め、自分たちのスタイルを貫き通した羽黒が優勝を勝ち取った。

戦評者 石山 創紀、丸橋 慎吾